



## ～小関地区の今昔～

### 地名の由来について…

現在の北品川5丁目から居木橋までの区域には昔、太古の東海道とされる古道の関所があったことから、この地域を「小関」と呼ぶようになったと言われています。

小関地区は当初、農作物を育てる土地として利用されていたため人々が生活を営む場所ではありませんでした。その後、江戸時代後期から農家が住み始めるようになり、「字小関」と呼ばれる居住地域になりました。



昭和27年当時の様子

昭和30年代頃になると、工場の郊外転出とマンションの建設が相次ぎ、居住人口が急増しました。現在では、多くのマンションや商業施設が立ち並び地域になり、地域住民の生活拠点となっています。



令和4年現在の様子

引用元：品川区「品川の歴史シリーズ・地名編」

### 品川第一地区特集



### File. 13

## 小関公園

〈北品川5-8-21〉

～皆さんの憩いの場である公園を複数回にご紹介します～

居木橋の北西に位置し、隣接する民間住宅内の公園や目黒川の緑道と繋がっている公園です。園内には、鉄棒のほか、品川第一地区管内では珍しいフエンス付きのキャッチボール場が設置されており、地域の子どもたちが逆上がりやボール遊びを楽しんでいます。



### 新井会長にお話を伺いました!

この公園は、ファミリーレクリエーションなどの地域行事にも利用されており、地域住民の交流の場になっています。



小関親睦会 会長  
新井 辰男 さん



キャッチボール場



## イベント・ルポ

# 目黒川みんなのイルミネーション2022

現在開催中の「目黒川みんなのイルミネーション2022」の様子をお届けします!



### POINT 01 廃食油を再利用してライトアップ!

このイルミネーションでは、目黒川両岸合わせて2.2キロメートルの点灯距離に約35万球の桜色LED電球が使用されています。



### POINT 02 橋梁も桜色&白色にライトアップ!

イルミネーションの開催期間中、開催範囲内の5つの橋梁(森永橋、小関橋、鈴懸歩道橋、山本橋、ふれあいK字橋)が期間限定で桜色と白色にライトアップされています。



小関橋



LED電球に使用されている電力は、近隣14カ所から回収した使用済みの食用油を精製して作り出したもので、「エネルギーの地産地消」によるライトアップが実現しました。



森永橋

イルミネーションと橋梁の連携ライトアップは、令和5年1月8日(日)までの期間中、毎日17時から22時まで開催されています。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか?